

NGOシンポジウム 「地球サミット10年の危機」

日時：8月4日（日）10:30～16:30（10:00 開場）

場所：東京都庭園美術館 大ホール（東京都港区白金台）

参加費：一般 1,000 円・学生 500 円

主催：「リオ + 10」NGO シンポジウム実行委員会

昼食時にはお弁当の販売を予定しています（先着 100 名）が、なるべくご自身でご用意下さい。

地球サミットから 10 年、私たちを取り巻く地球規模の問題は改善しているでしょうか。現実を目を向ければ、地球環境の危機は更に深刻化し、南北の格差は一層拡大しています。また世界は核・戦争・テロの脅威にさらされています。人類は持続可能な発展への道を歩んでいるといえるのでしょうか？

8月26日より、南アフリカのヨハネスブルグにて、この10年の取り組みを検証し次の具体的な行動を話し合う「持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）」が開催されます。この会議を前に、それぞれの課題の解決へ向けて活動する NGO が結集して、10年を検証し問題を明らかにしながら、これから進むべき方向性について議論し、提言を行います。ぜひご参加ください。

シンポジウムの内容（予定）

はじめに ヨハネスブルグ・サミットとは

第1部 「地球サミットから10年」の評価と今後への提言

地球温暖化 / ODA / 途上国支援（貧困と平和） / 水 / 森林

第2部 共通課題「持続可能な社会を実現する日本のシステムとは（仮題）」

第3部 サミットと日本政府への NGO 提言

■「リオ + 10」NGO シンポジウム実行委員

【世話人】古沢広祐（「環境・持続社会」研究センター（JACES）事務局長）

浅岡美恵（気候ネットワーク代表）

田中優（日本国際ボランティアセンター（JVC）理事、元・市民フォーラム 2001 共同代表）

【実行委員】足立治郎（「環境・持続社会」研究センター（JACES））・大林ミカ（「自然エネルギー促進法」推進ネットワーク（GEN））・環境エネルギー政策研究所（ISEP））・神田浩史（世界水フォーラム市民ネットワーク））・小浜崇宏（熱帯林行動ネットワーク（JATAN）））・田浦健朗（気候ネットワーク））・高橋清貴（日本国際ボランティアセンター（JVC）））・早川光俊（地球環境と大気汚染を考える全国市民会議（CASA）））・平田仁子（気候ネットワーク））・松本 悟（メコン・ウォッチ）（五十音順・6月17日現在）

■お問合せ 「リオ + 10」NGO シンポジウム実行委員会 事務局

（気候ネットワーク東京事務所）TEL：03-3263-9210、FAX：03-3263-9463 又は
（「環境・持続社会」研究センター）TEL：03-3447-9515、FAX：03-3447-9383